

まちと市民と“つながり”、“開かれた” 立体的に“めぐる”『街道の庁舎』

守山市は『旧中山道』をはじめとする多様な道でつながれたまちです。新しい庁舎は道とつながり、かつての宿場町のようなヒューマンスケールの軒が連なり、行き交う人々で賑わう、『街道』と一体化した開かれた庁舎を目指します。



1. 庁舎とまちを“つなげる”『森の街道』

軒が連なる『街道』のように、ヒューマンスケールの庇と移植した既存樹木が連なる『森の街道』によって、まちと庁舎をつなげます。

すこやか通り・公文書館・バス停へ

市役所前通り

新中山道

旧中山道

市民ホール通り

市庁舎とつながるいくつかの街道や通り

『中山道』の軒のつらなりと賑わい

2. まちと市民に“開かれる”『街道広場』

B 1F『街道広場』

庁舎内部から大きな軒下にしみ出す“活動”と“賑わい”

敷地西側の「市役所通り」沿いに、『森の街道』と連続する『街道広場』を配置することで、点在する周辺施設と庁舎の関係を容易にし、庁舎と周辺施設市民と庁舎の距離を縮めます。

様々なイベントを受け入れることができる軒下の大きな広場

【ホールエリアの利用オプション】

ギャラリーや学習スペースとして利用

講演会等大人数のホールとして機能

【外構素材イメージ】

舗装

アースカラーの温かみのある舗装

植栽緑石

地場産の石材

緑化

既存の緑も生かした適度な植栽帯

3. “めぐる”『なかの街道』

『なかの街道』

それぞれの『街道』を中心に市民や職員の様々な“活動”を支え、“賑わい”を生み出す建築、仕掛けや仕組みづくりを積極的に取り入れ、楽しい“コト”がある庁舎の実現を目指します。

『森の街道』

『街道広場』

『なかの街道』

知る 学ぶ

つくる 食べる

つながる 支える

『なかの街道』は、『森の街道』や『街道広場』とも連続し、市民の活動や生活を支え、庁舎を立体的にめぐる市民に開かれた『街道』です。

4. 『街道』が紡ぐ“活動”

『なかの街道』

知る 学ぶ

つくる 食べる

つながる 支える

『なかの街道』は、『森の街道』や『街道広場』とも連続し、市民の活動や生活を支え、庁舎を立体的にめぐる市民に開かれた『街道』です。

5. 『森の街道』に点在する小さな仕掛け

『森の街道』では市民のコミュニケーションを促すための仕掛けを点在させます。

知る 学ぶ

つくる 食べる

つながる 支える

雨や強い日差しから“知る”軒下のアプローチ

『森の街道』は雨に濡れず、強い日差しを遮る庁舎へのアプローチであり、市民のために開放された通り道です。

知る

車寄せの庇
来館者を迎入れる広々とした軒下空間

『街道』で“知る”
インフォメーションウォール

メインエントランス

『森の街道』の軒下

車寄せ

C 森の街道（メインエントランス前）

6. 市民が“集い”、活動で“賑わう”『街道広場』

多目的ホールやカフェと一体となり多様なニーズに応える柔軟なスペース

知る 学ぶ

つながる 支える

市民も職員も “くつろげる” 休憩スペース

知る 守山市の情報展示や学生のための“学び”の場

学ぶ

状況に応じてフレキシブルに組み合わせる小さなパネルシステム

情報揭示パネル

展示パネル

学習コーナー

ベンチ

ブース

総合案内
全館の案内を行うインフォメーションカウンター

休憩スペース
居心地の良い市民のためのラウンジ

スタディ・ワーキングスペース
学生や社会人のためのスペース

1F 多目的スペース
市民の創作活動を“支える”ギャラリー等の利用

知る 学ぶ

つながる 支える

つくる

カフェスペース
気軽に訪れることができる憩いの場

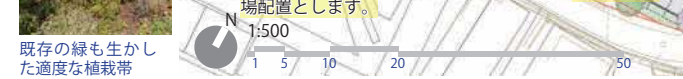
知る 学ぶ

つながる

可動展示台

可動展示パネル

街道広場に面したオープンなカフェスペースは庁舎利用以外の市民も気軽に楽しめる開かれた場です。



7. 『なかの街道』を中心とした、シンプルなゾーニングと動線による、機能的な『L型プラン』

待合・ロビー・共用廊下 執務エリア 議会関係エリア 会議室等諸室 バックスペース 縦動線

L型を活かした明快なゾーニングとセキュリティ、動線計画を実現します。執務スペースはまとめることでユニバーサルレイアウトが可能な計画とします。



8. みんなに“やさしい”“安心”の庁舎

子育て世代のための設備の整備（授乳室、子どもトイレ、キッズスペース等）や危険性の排除、視認性の高い明快なサイン計画、窓口のファンストップ化、バリアフリー、ユニバーサルデザインを徹底し、市民が訪れやすく、活動を行いやすい計画とすることで、市民が気軽に訪れることができる庁舎を目指します。



9. 環境と“調和”し、環境に配慮した省エネの庁舎

自然エネルギーの積極的活用と高効率設備の導入により、一次エネルギー消費量の50%以上を削減し、ZEB Ready化を実現します。

- 01 自然通風・自然換気、外気空調の採用による、換気・空調用電力の低減
- 02 ベアガラスやLow-Eガラスを適材適所に用いた高断熱化と換気により、温度差による熱負荷の軽減
- 03 水損とコスト低減に配慮した外構のマウンドアップ
- 04 センサー、自動制御による照明負荷の軽減
- 05 窓上の庇やブラインドによる日射遮蔽と熱負荷の軽減
- 06 メンテナンスに配慮した水平のバルコニー
- 07 守山特有の伏流水を活かした積極的な井水利用

